

皆さまお待たせいたしました！

第 19 回自然科学研究機構シンポジウムの概要が決定しました。

今回は 9 月 20 日（日）に“名古屋大学豊田講堂”にて開催いたします。

今回のテーマは

宇宙から脳まで 自然科学研究の“ビッグバン”

－コンピューターが切り開く自然科学の未来－

ということで、シミュレーション科学やコンピューターを使った

新しい切り口での自然科学研究に着目し、特に、天文・宇宙研究、

理論物理研究におけるシミュレーションやコンピューター計算理論構築、

また、脳研究における最新の計算理論など、コンピューターサイエンスの

発展がいかに科学の発展に寄与しているか、という視点で講演を行います。

また、あわせて、参加申し込み受付も開始しました。

ぜひお早めにご登録ください。

9 月 20 日（日）は名古屋大学豊田講堂にて、

皆さまのご参加をお待ちしております！

INDEX

-
1. 「第 19 回自然科学研究機構シンポジウム」概要決定 & 参加申込受付開始
 2. 最新の研究成果・ニュース
 3. 編集後記

-
1. 「第 19 回自然科学研究機構シンポジウム」概要決定 & 参加申込受付開始
-

<シンポジウム概要>

◆タイトル：第 19 回自然科学研究機構シンポジウム

宇宙から脳まで 自然科学研究の“ビッグバン”

－コンピューターが切り開く自然科学の未来－

◆概要：

この広い宇宙の中で、どうやって地球は誕生したのでしょうか？

宇宙で最初の星は、どうやって作られたのでしょうか？

脳の中で情報はどのように行きかっているのでしょうか？

こうした「目で見ることができない」疑問を解くために、

天文学者から脳科学者まで多くの自然科学研究者が研究を続けています。

今回のシンポジウムでは、コンピューターサイエンスの発展がいかに

科学の発展に寄与しているかという視点で、

宇宙から脳まで「自然科学の未来」をお話しします。

◆日時：平成 27 年 9 月 20 日（日）13:00～18:00 （開場 12:30）

◆会場：名古屋大学豊田講堂
(愛知県名古屋市千種区不老町)

◆申込方法：下記 Web サイトの専用申込みフォームからお申込みください
<http://www.nins.jp/sympo19.php>

◆主催：自然科学研究機構
◆共催：名古屋大学、中日新聞社
◆後援：愛知県教育委員会

◆プログラム：

13：00～13：10

機構長挨拶

佐藤 勝彦（自然科学研究機構 機構長）

13：10～13：50

「地球の誕生を観る」

小久保 英一郎（自然科学研究機構国立天文台 教授）

13：50～14：30

「宇宙の夜明け -ファーストスター形成と巨大ブラックホールの起源-」

吉田 直紀（東京大学 教授）

14：30～14：50

休憩（20分）＜パネル展示＞

14：50～15：30

「超大規模シミュレーションが拓く気象学の最先端」

坪木 和久（名古屋大学 教授）

15：30～16：10

「ビッグデータと数理モデル：経済物理学の先端で」

高安 美佐子（東京工業大学 准教授）

16：10～16：30

休憩（20分）＜パネル展示＞

16：30～17：10

「核融合：プラズマカレイドスコープ」

伊藤 篤史（自然科学研究機構核融合科学研究所 准教授）

17：10～17：50

「脳の実スケール回路モデル ～行動制御の仕組みを探る」

銅谷 賢治（沖縄科学技術大学院大学 教授）

17：50～18：00

閉会挨拶

2. 最新の研究成果・ニュース

【国立天文台】

◆視力 13,000 を達成！アルマ望遠鏡と重力レンズ望遠鏡のかけ合わせでモンスター銀河の真の姿をとらえることに成功

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2015/20150609-alma.html>

◆アルマ望遠鏡によるブラックホールの精密体重測定

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2015/20150618-alma.html>

- ◆854 個もの「超暗黒銀河」をすばる望遠鏡アーカイブから発見
<http://www.nao.ac.jp/news/science/2015/20150623-subaru.html>
- ◆すばる望遠鏡 Hyper Suprime-Cam が描き出した最初のダークマター地図
<http://www.nao.ac.jp/news/science/2015/20150702-subaru.html>

【核融合科学研究所】

- ◆より高温で丈夫な材料を目指して ―酸化物分散強化金属の開発―
http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_257.html
- ◆プラズマ中の電場構造を計測する ―重イオンビームプローブ法による二次元電位計測―
http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_258.html

【基礎生物学研究所】

- ◆R3 RPTP サブファミリーがインスリン受容体の働きを抑制している ～糖尿病の新しい治療薬開発の可能性～
<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2015/06/11.html>
- ◆「精子になるか、卵になるか」を決めるしくみの発見 ～生殖細胞で働く性のスイッチ遺伝子を同定～
<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2015/06/12.html>

【生理学研究所】

- ◆「見えてないのに分かってしまう」盲視はヒトでもサルでも同じ
http://www.nips.ac.jp/release/2015/06/post_298.html
- ◆柿木隆介教授が新しい概念、Look at me 症候群を提唱
http://www.nips.ac.jp/release/2015/07/look_at_me.html
- ◆天然の精油に含まれる揮発油が、セイヨウミツバチに寄生する Varroa ダニの TRPA1 チャネルを特異的に活性化することを発見 ～蜂群崩壊症候群解明への一助となるか～
<http://www.nips.ac.jp/release/2015/07/varroatrpa1.html>
- ◆大脳皮質の錐体細胞に分布する抑制性シナプスの形態と機能
http://www.nips.ac.jp/release/2015/07/post_299.html

【分子科学研究所】

- ◆地球の自転周期、タンパク質が原子スケールで記憶
https://www.ims.ac.jp/news/2015/06/26_3224.html
- ◆毎秒 1 千億回に達する分子の回転運動について高解像度の動画撮影に成功
https://www.ims.ac.jp/news/2015/07/04_3227.html

3. 編集後記

9月20日（日）開催の「第19回自然科学研究機構シンポジウム」について、概要が決定し、あわせて参加申し込みも開始しました。
今回は、より幅広い分野から研究者が集まり、講演を行います。
また、東京で開催することが多かった本シンポジウムですが、今回は名古屋で開催することとなりました。
これまで「東京まで行くのが大変」ということで、なかなか参加が難しかった東海地区の皆様、これを機にぜひご参加いただければと思います。
また、これまで東京会場でご参加いただいていた皆様も、ぜひお越しいただけますと幸いです。
(9月連休中の開催ですので、ついでに名古屋観光ということも・・・)

今回の会場は名古屋大学豊田講堂。

国の登録有形文化財にも登録されており、
日本のモダニズム建築の一つとして評価されている素晴らしい建物です。
とても広いホールで、快適に講演を聴くことができます。
お越しの際には、ぜひ会場にも注目してみてください。

それでは皆様のご参加を心よりお待ちしております。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。
ご意見等ございましたら、nins-kikakurenkei@nins.jp までお寄せ下さい。

【自然科学研究機構シンポジウム・メールマガジン】

このメールマガジンでは、シンポジウムの情報に加えて、
自然科学研究機構（NINS）や NINS の各研究機関（※）が開催する
イベント等の情報、そして最新の研究成果などをお伝えします。

（※NINS は、国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、
生理学研究所、分子科学研究所の 5 つの研究所から成り立ち、
自然科学研究の広い分野をカバーしています。 <http://www.nins.jp/>）

発行者：自然科学研究機構 <http://www.nins.jp/>

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

バックナンバー：http://www.nins.jp/public_information/mailmagazine.php

配信の中止・購読・バックナンバーはこちらから：

<http://www.mag2.com/m/0001498331.html>

Copyright(C)2015 NINS All rights reserved.
